

「この人 03」

横山喜三郎 76歳 長野県

八 木 俳句歴などについてお話しください

横 山 妻が、NHK 全国俳句大会で特選になりました。
東京の NHK ホールで表彰されたのです。
その夜、ホテルで娘たちの前で「これぐらいなら父さんにも
できる」と口走ってしまい、結局、俳句を始めると宣言してし
まったのです。信濃毎日新聞に投句したのが運良く入選。うれ
しかったですね。
しばらくして、本屋さんの店頭で月刊俳句総合誌「俳壇」を手
にしてひらいたのが、八木健選の微苦笑俳壇でした。目をひ
らかれた思いでした。俳句にもこんな世界があるのかと夢中
になりました。のめりこんだのです。

八 木 うれしいですね。特にどんなところに惹かれたのでしょうか。

横 山 これぞ「大衆文芸」だと思ったのです。
従来の俳句は、どこか小難しくて分かりにくいのですが、微
苦笑俳壇の滑稽句は分かりやすく面白。共感できるの
です。とりすましたところがない。それでいて奥が深いので
すね。川柳は題材が人事に偏っているので日常化しすぎて
いますが、滑稽俳句にはどこか芸術性があるのです。

八 木 横山さんは、俳壇の年間賞をおとりでしたね。

横 山 「誤射もありテロもありたる水鉄砲」で受賞しました。
あの句は孫と水遊びをしていて生まれた句です。
私は自身の身の回りのものを題材にすることが多いので
す。身のまわりの出来事をちょっとだけ退いて見ることにし
ています。

八 木 データバンクに五十句登録していただいています、
棚田や千枚田の句に秀句が多いですね。

横 山 農家の二男に生まれましたので、棚田、千枚田に愛着をもっ
ております。
「観光の人寄せとなり千枚田」

「採算もなき百選の棚田植う」
・・・などです。

八 木 「早乙女は七十路八十路千枚田」・・・可笑しくてどこか哀しい句ですね。

横 山 農村は常に貧しくてそれでも懸命です。そんな「ふるさとの風景」に愛着があるのです。

八 木 そういう愛情が下敷きにあってこそ、滑稽句が生まれるのですね。

横 山 滑稽句をいろいろな方にお勧めするのですが、みなさん「作りたいけど難しい」とおっしゃるんです。

八 木 たしかに、滑稽句をつくる俳人の多くは俳句歴が長い方々です。さまざまな句をおつくりで、その上で到達したのが滑稽句という場合が多いのですが、俳句歴六年の横山さんは短期間で、多くの滑稽句をおつくりの優等生ですね。

横 山 定年退職後、絵や写真、川柳、短歌、童話にも手を染めました。が、俳句、とりわけ滑稽句が性にあっていたようです。私は滑稽俳句に出会って本当に幸せです。ぜひ滑稽俳句が広まってほしいと思います。

八 木 ありがとうございました。